

指定管理者評価シート

事業名	老人福祉センター運営管理費	所管課(電話番号)	保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課(211-2976)
-----	---------------	-----------	-----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市中央老人福祉センター	所在地	札幌市中央区大通西19丁目
開設時期	平成元年6月	延床面積	751㎡
目的	高齢者に対する福祉の増進		
事業概要	市内在住の高齢者に対する生活相談、健康相談等の各種相談事業、機能回復訓練及び行事等の介護予防事業、デイサービス事業、浴室その他の施設開放など高齢者の生きがい支援に供すること。		
主要施設	大広間、機能回復訓練室、工芸室、教養講座室、娯楽室、浴室、デイサービスルーム		
2 指定管理者			
名称	社会福祉法人札幌市社会福祉協議会		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	<p>非公募</p> <p>非公募の場合、その理由：当センターで実施しているデイサービス事業において、利用者に対し適切なサービスを提供していくためには、利用者と施設職員が継続的な信頼関係を構築し、利用者が安心して利用できる環境を整えるとともに、個人の生活・身体状況を適確に把握する必要があります。</p> <p>このため、指定管理期間の満了により指定管理者が変更されると、施設の設置目的の達成に支障をきたし、利用者に不利益を与える恐れがあり、管理が良好に行われている法人であることから、非公募としたもの。</p>		
指定単位	施設数：1 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	施設管理業務、生活相談等業務、健康増進業務、教養講座業務、レクリエーション業務、デイサービス業務		
3 評価単位	施設数：1 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 令和6年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼令和6年度事業計画において、当センター管理運営に係る基本方針を下記のとおり策定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 共感する 高齢者や児童、生徒などへの福祉教育活動や地域社会の課題への関心を高める活動に取り組みます。 育成する 高齢者が地域社会で「生涯現役」として活躍できるよう、意欲と能力に応じた社会参加の促進に取り組みます。 支援する 高齢者が健康で充実した生活を送れるよう、健康づくりや生きがいを高めるため、ニーズに沿った施設運営に取り組みます。 つなげる 当会が有する情報資源やネットワークを最大限活用し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が営めるよう地域や各関係機関との連携に取り組みます。 チャレンジする 地域社会を取り巻く環境変化に対応するため、新たな取り組みや見直しを行い、サービスの向上に取り組みます。 組織を強くする 老人福祉センターの認知度向上を図るため、組織内の部門を超えた情報共有や連携による活動の基盤(組織)の強化に取り組みます。 	<p>・当センターの基本方針及び札幌市の高齢者施策、方針に基づき、適正な管理運営を行った。</p> <p>・基本的な感染対策を講じながら、可能な限り利用者の要望に沿う運営を心掛けた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>▼仕様書に沿って適切な管理運営を行っている。</p> <p>▼研修等により職員の資質及び意識の向上を図り、管理水準の維持向上に努めた。</p> <p>▼利用者からの要望・苦情等への対応に当たっても第三者の意見を取り入れる体制を確立している。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

	<p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼「全ての利用者に対して、信条や性別、年齢、あるいは社会的身分等によって、合理的な理由なく利用の制限や利用料金の減免、不当な差別的扱いをすることなく公平中立な対応をします。」との方針を策定している。</p> <p>そのうえで、平等利用に係る心構え及び重点取組項目を事務室内に掲示するとともに、研修やミーティング等により情報を共有し、関係法令の順守や利用者の視点に立ったサービスの提供を行うことができた。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼センターの運営にあたっては、「環境首都・SAPPORO」宣言を踏まえ、温暖化防止等地球規模の環境を保つために定めた「環境保全行動計画」に基づき、「電気・水・紙・燃料の使用量削減」や「ごみ減量とリサイクル」「グリーン製品購入の推進」等、SDGsの取組と連動した環境負荷の低減に向けた取組を実施し、持続可能な脱炭素社会の実現を目指した。</p> <p>▼「さっぽろエコメンバー」への「レベル3」での登録を継続している。</p>	<p>・重点取組項目により、具体的な対応方法での平等性を心掛けるとともに、基本的方針に基づく平等利用を心掛け、適切な対応を行った。</p> <p>・職員研修の中で職場における環境への負担を減らす取り組みについて、年1回(8月)研修を行い、省エネを意識し日常業務に取り組むことが出来た。裏紙の再利用の徹底を行い、ごみの削減を行った。</p>							
	<p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>▼事務分掌、緊急連絡網、組織図等を定めた。</p> <p>▼研修計画に基づき、可能な限り外部研修への参加を行った。</p> <p>▼月1回開催の職員会議は、議事録の供覧を行い、全職員が情報共有を行った。</p> <p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <p>▼管理水準を高めるため、職員会議や日々のミーティングにより恒常的に情報共有を行うとともに、当法人で進めている事業や様々な取り組み等、組織内の情報を各職員が共有した。</p> <p>▼当法人の管理する他施設の職員がそれぞれ各職位ごと(施設長、相談員など)毎月定期的な会議を開催し、取組状況や課題点について情報共有に努めた。</p> <p>▼年1回(1~2月)利用者アンケートを実施し、利用者のニーズ把握を行い、施設運営の見直しに努めた。</p> <p>▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)</p> <p>▼施設の維持管理及び運営において必要な専門性及び効率性を考慮し、清掃及び入浴受付業務を第三者に委託した。仕様書に基づく業務の遂行を図るため、適宜、指示指導を行った。</p> <p>▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)</p> <table border="1" data-bbox="446 1653 928 1980"> <thead> <tr> <th>開催回</th> <th>協議・報告内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 令和6年9月</td> <td>・令和5年度事業実績について ・令和5年度利用者アンケート結果について ・令和6年度事業計画について ・意見交換</td> </tr> <tr> <td>第2回 令和7年2月</td> <td>・令和6年度事業実績(R6.4~12)について ・ご利用者様からの苦情等の整理分析について ・令和7年度事業計画(案)について ・意見交換</td> </tr> </tbody> </table>	開催回	協議・報告内容	第1回 令和6年9月	・令和5年度事業実績について ・令和5年度利用者アンケート結果について ・令和6年度事業計画について ・意見交換	第2回 令和7年2月	・令和6年度事業実績(R6.4~12)について ・ご利用者様からの苦情等の整理分析について ・令和7年度事業計画(案)について ・意見交換	<p>・必要な専門知識や技能、経験を有する職員を配置し、効果的な管理運営を行うことができた。</p> <p>・研修等により職員の資質及び意識の向上を図り業務に反映することができた。</p> <p>・ミーティングや職員会議、その他の会議において、運営に必要な情報を共有するとともに、法人のネットワークを活用した多方面からの情報も得ることにより管理水準の向上を図った。</p> <p>・委託業務については、適宜業務の履行確認を行い、適正な管理を行った。</p> <p>・第1回は参加委員が少ないため書面開催としたが、第2回は参集により活発な意見交換等ができた。</p>	
開催回	協議・報告内容								
第1回 令和6年9月	・令和5年度事業実績について ・令和5年度利用者アンケート結果について ・令和6年度事業計画について ・意見交換								
第2回 令和7年2月	・令和6年度事業実績(R6.4~12)について ・ご利用者様からの苦情等の整理分析について ・令和7年度事業計画(案)について ・意見交換								

	<p><協議会メンバー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央老人福祉センター利用者2名 ・中央老人福祉センター講座講師2名 ・中央区大通地区西19丁目町内会会長 ・中央区円山児童会館館長 ・中央区第一地域包括支援センター長 ・札幌市長生園園長 ・札幌市高齢福祉課生きがい支援担当係長 ・札幌市高齢福祉課担当職員 ・中央老人福祉センター館長及び副館長 										
	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>▼資金管理については、「社会福祉法人会計基準」により資金の区分、運用の基本方針、運用対象等について定められており、資金の適正かつ効率的な管理運用を行っている。</p> <p>▼現金等の取扱いについては、「経理規程」に基づき、不適切な経理事務の未然防止として外部監査、内部監査、現金実査、月末残高照会を実施するとともに、定期的及び抜き打ちで現金実査を行った。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼「苦情解決処理規程」に基づき、苦情を適切に受付・対応するとともに、苦情内容については内部での情報共有を図ることとしている。</p> <p>▼ご意見箱の設置や職員による館内見回り等によって、要望、苦情を聴取し、即時対応を行っている。</p> <p>▼当法人として苦情解決における社会性や客観性を確保するとともに、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、第三者委員を設置している。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼老人福祉センター及びデイサービスセンターの利用者に対しアンケートを実施し、満足度及び意見・要望等を把握するとともに、アンケート結果については館内に掲示した。</p> <p>▼記録・報告については、定められた基準に基づき作成・報告を行った。</p> <p>▼札幌市の実地検査の結果、指摘を受けた事項はなかった。</p>	<p>・経理事務については、「経理規程」に基づき、外部監査、内部監査、現金実査、月末残高照会を実施し、適正に管理することができた。</p> <p>・要望、苦情等には、常に迅速・丁寧な対応を心掛け、ご意見箱に投函される意見については速やかに掲示により回答を行っている。</p> <p>そのうえで、実現可能なものについては適切に対応した。</p> <p>・アンケート結果や意見、要望等を精査し、サービス向上に努めた。</p> <p>・記録等については適正に作成し、期日を厳守の上報告した。</p> <p>・実地検査による指摘事項はなかったが、今後も適正な処理に努めたい。</p>									
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <p>▼施設に従事する職員に対して、時間外労働及び休日労働させる場合を念頭に書面により労使協定(36協定)を締結し、労働基準監督署に届け出た。</p> <p>▼必要条件を満たす労働者を雇用保険に加入させるとともに、労働者の勤務状況等に応じて社会保険に適切に加入した。</p> <p>▼法人内に労働安全衛生に係る担当職員を配置し、定期の健康診断、ストレスチェックを行っている。</p> <p>▼札幌市からワークライフバランス企業と認証されており、その実現に積極的に取り組んだ。</p> <p>▼年間10日以上(極力10日以上)の有給休暇を付与される職員へは、5日以上(極力10日以上)の有給休暇の取得を促した。</p>	<p>・関係法令の遵守に努め、年次休暇取得や職員の希望に沿った勤務等に配慮した。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">▼関係法令を遵守し、職員の雇用環境について、適切な整備に努めている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	▼関係法令を遵守し、職員の雇用環境について、適切な整備に努めている。			
A	B	C	D								
▼関係法令を遵守し、職員の雇用環境について、適切な整備に努めている。											
(3)施設・設備等の維持管理業務	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p>		<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> </tr> </table>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

	<p>▼利用者の安全確保について、事故の未然防止のため、開館時及び閉館時の館内点検において各機器の動作状況や備品の設置状況等を確認した。</p> <p>▼引き続き館内でのマスク着用をお願いするとともに館内に手指消毒を設置し各種感染症の予防に努めた。</p> <p>▼入浴時における浴槽水の湯温管理を徹底して適温確認を実施するとともに、適切な入浴方法について掲示し、利用者の安全を確保した。</p> <p>▼利用者から施設・機器の使用における要望等を聞き取り、改善を図ることでサービスの向上に努めた。</p> <p>▼非常時等の職員連絡体制を確立して、迅速に行動するよう努めた。</p> <p>▼管理業務等仕様書に基づいた施設賠償保険に加入している。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼札幌市の要求水準に沿った清掃業務仕様書を作成し、施設の衛生的かつ快適な環境を保持するため日常清掃及び定期清掃を実施した。</p> <p>▼備品台帳を備え、適正かつ効率的な備品管理を行い、廃棄が発生する場合は所管と確認の上で処理を進めることとしている。</p> <p>▼定期的な館内見回りにより、設備の破損、故障等が生じないように点検を励行している。</p> <p>▼警備、設備の保守点検、駐車場管理、緑地管理については、併設している札幌市社会福祉総合センターの指定管理者が実施している。</p> <p>▽ 防災</p> <p>▼札幌市社会福祉総合センターの他入居団体と合同で避難訓練を実施しているとともに、中央老人福祉センター独自でも内部研修として防災マニュアルの確認を行った。</p> <p>▼当法人が定める「札幌市老人福祉センター防火管理規程」「施設福祉部災害マニュアル」「非常体制図」に基づき、利用者及び職員の安全確保の体制を図っている。</p>	<p>・施設点検を毎日行うとともに、災害時に備えた避難訓練も総合センター全体訓練時に実施し、利用者の安全確保に努めた。</p> <p>・館内に不備が見られた際には軽微なものに関しては迅速に対応しサービスの維持に努めた。</p> <p>・高齢者利用施設として基本的感染対策を継続するとともに</p> <p>・直接委託管理している清掃業務については、仕様書に基づき適切に管理することができた。</p> <p>・センター内の設備や備品について、現状機能を保つよう毎日の点検を実施した。</p> <p>・札幌市社会福祉センター合同の避難訓練や内部研修等で、非常時に備える体制及び意識の確認を図った。</p>	<p>▼複合施設であることを踏まえ、併設施設と合同で避難訓練を実施し、利用者の安全確保に努めている。</p> <p>▼非常時に備える体制及び意識の確認を図っている。</p> <p>▼高齢者利用施設として鑑み、基本的感染対策を継続している。</p>												
<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 生活相談等に関する業務</p> <p>▼専門家等相談事業開催回数:54回 延べ人数:193人 (うち参加者が15人以上であった回数:4回) (令和6年度要求水準:年4回以上開催・各回参加者15人以上)</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「札幌認知症の人と家族の会」会員の協力を得て、毎週金曜日に認知症に関する相談を実施している。(面談及び電話相談) ・7月 札幌市環境局環境共生担当課職員による出前講座「ヒグマの生態と対策について」参加者:25人 ・8月 一般社団法人あんしん住まいサポロスタッフによる講話「失敗しない住まいの選び方」参加者:15人 講話後は個別相談も実施した。 ・9月 天使大学准教授による栄養講話「熱中症と脱水症を未然に防ごう～効果的な予防策とその実践方法～」参加者:20人 ・1月 株式会社明治管理栄養士による健康講話「カラダは食べた物からできている～元気な人生100年のためのヒント～」参加者:25人 <p>▽ 健康増進、機能訓練に関する業務</p>	<p>・定期的な認知症に関する相談は継続して行っているが、毎週行っていることもあり、1日あたりの相談件数は3件程度となっている。</p> <p>・会場の関係上、定員を設ける形での開催になってしまうが、申込受付は先着順としながらも、当日のキャンセルによる空きが出た際には、追加の参加も可能にし、より多くの方に参加いただけるよう配慮しながら、実施することができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1129 1220 1189 1254">A</td> <td data-bbox="1189 1220 1236 1254">B</td> <td data-bbox="1236 1220 1284 1254">C</td> <td data-bbox="1284 1220 1294 1254">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">▼参加延べ人数は前年度を下回ったものの、より多くの利用者に参加してもらえるよう配慮しながら事業を実施している。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">▼実施回数も要求水準を満たす内容となっており、評価できる。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	▼参加延べ人数は前年度を下回ったものの、より多くの利用者に参加してもらえるよう配慮しながら事業を実施している。				▼実施回数も要求水準を満たす内容となっており、評価できる。			
A	B	C	D												
▼参加延べ人数は前年度を下回ったものの、より多くの利用者に参加してもらえるよう配慮しながら事業を実施している。															
▼実施回数も要求水準を満たす内容となっており、評価できる。															

	<p>▼講演・運動等事業開催回数:105回 延べ人数:1,503人 (うち参加者が20人以上であった回数:40回) (令和6年度要求水準:年30回以上開催・各回参加者20人以上) 【実施内容】 ・定期的に開催している介護予防のための運動、ストレッチを行う自主活動グループ(毎週火曜)は継続開催。 ・フレイル予防として「カーリンコン」の実施(月2回) 参加者:699人 ・短期集中講座として全6回の「背骨コンディショニング講座」を3クール実施(5~7月、9~11月、1~3月の月2回) 参加者:285名 ・4月 国立長寿医療研究センター認定講師による「コグニサイズ」参加者:24人 ・5月 ちえりあ講師/バンク登録講師による「ふわゆる姿勢改善教室」参加者:20人 ・5月 札幌ヤクルト販売株式会社職員による健康講話「健康と腸の関係」参加者:20人 ・7月 ちえりあ講師/バンク登録講師による「津軽弁体操」参加者:25人 ・11月 健美操認定指導員による「椅子で行う健身操」参加者:25人 ・1月 介護予防センター職員による健康教室「ストレッチ&ラダーステップで転倒予防」参加者:20人</p>	<p>・定期的に開催しているカーリンコンや自主活動グループ等の介護予防事業や、利用者のニーズを踏まえスマホ講座や健康に関する講話等多種多様な事業開催に努めた。 ・部屋の広さの都合上運動系のものなど希望者全員が参加することは難しい状況であった。 ・参加人数が少ないうちながらも障がい当事者の講話やシニアボランティアの地域活動の紹介、地域見守りサポーター養成講座などを実施することができた。</p>
	<p>▽ 浴室業務</p> <p>▼利用者数:2,579人(前年度2,724人) ※目標値:2,400人 ▼週3回(月・水・金) 13時~16時 ①13:00~13:40 男女各6人 ②13:50~14:30 男女各6人 ③14:35~15:15 男女各6人 ④15:20~16:00 男女各6人 営業の際は、時間及び利用人数の制限を行うとともに、定期的に消毒や換気を行った。</p> <p>▽ 教養講座に関する業務</p> <p>▼月2回以上開催する健康増進に関する講座:7講座実施 ・スッキリ体操(月4回※1日2部制) 参加者772人 ・フラダンス(月2回)参加者613人 ・社交ダンス(月2回)参加者777人 ・サルサステップ(月2回)参加者295人 ・椅子ヨガ(月2回)参加者1,312人 ・はじめてのヨガ(月2回)参加者274人 ・日本舞踊(月2回)自由参加 参加者293人</p> <p>▼月2回以上開催する教養向上に関する講座:7講座実施 ・皮革工芸(月3回)参加者403人 ・たのしいお花(月2回)参加者232人 ・大正琴(月3回)参加者288人 ・オカリナ(月2回)参加者224人 ・水彩画(月2回)参加者338人 ・絵手紙(月2回)参加者270人 ・コントラクトブリッジ(月4回)参加者1,140人 (令和6年度要求水準:健康増進4種類以上、教養向上4種類以上、合計10種類以上)</p> <p>▼うち定員の70%以上の申込みがあった講座:定員制講座9講座中、9講座で70%以上の申込みがあった。</p> <p>▽ レクリエーション、各種行事の開催等に関する業務</p>	<p>・常連者の高齢化に伴う利用者減少や新規入浴利用者の増加が思わしくなく利用者のアップには繋がらなかったが目標人数はクリアすることができた。</p> <p>・講師の都合上、月1回のみでの講座も実施しており、健康増進に関する講座に関してはほとんどの講座で昨年より多くの方に参加いただくことができた。 ・基本的な感染対策を講じながら安心して参加いただくことができた。</p>

	<p>▼レクリエーション ・参加者 5,966人 囲碁、将棋、オセロ、卓球等の日常的なレクリエーション活動を実施した。</p> <p>▼各種行事 ・参加者 563人 ・避難訓練2回実施(12月、3月) ・各講座、サークルの作品展示の場として文化祭開催(11月) ・節分行事「豆のプレゼント」(2月) ・講座受講生による卒業作品展、大正琴・オカリナ受講生による卒業コンサート(3月)</p>	<p>・来館者が事前の申し込みなく自由に参加できる発表会やプレゼント企画は好評を得た。 ・作品展やコンサートの開催が受講生の意欲向上につながることや初心者の講座申込へのきっかけとなっており、今後も引き続き継続していきたい。</p>
	<p>▽ 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務</p> <p>▼各種サークルへの施設開放 ・カラオケサークルに関して令和5年9月よりカラオケサークル再開(第2土曜日、第3日曜日) ・令和6年12月より総合センター4階大研修室でカラオケサークル再開(月1回月曜日) ・昨年同様各サークルへの施設開放を行った。</p> <p>▽ デイサービスに関する業務</p> <p>利用者数:14.3人/日(目標:17.2人/日)</p> <p>▼利用者の高齢化に伴い、入院から在宅復帰困難となり施設入所へ移行となる方や、週に複数回利用の利用者の終了が相次ぎ、目標値へは届かない状況であった。</p> <p>▼基本的感染症対策として引き続き、迎え時の検温、手指消毒、テーブルや椅子など物品等の消毒の徹底、パーテーションの設置等を継続した。</p> <p>▼バイタルチェックや歩行状態、入浴時の皮膚観察、栄養士による栄養指導など必要に応じて家族や関係機関等に連絡を図り情報共有に努めた。</p> <p>▼施設に応じたアクティビティや外出行事を実施した。</p> <p>▽ その他設置目的に関する業務</p> <p>▼ボランティアの育成及び活動支援 シニアボランティア講座の実施(10月)や区社協ボランティア通信等の配架、掲示を行った。</p> <p>▼実習生の受入れ及び施設見学 ・6月～2月にかけ教員免許取得に関わる5日間の介護等体験の受入れ 述べ参加者115人 ・4月26日、5月10日 札幌医療リハビリテーション専門学校生へ館内案内、概要説明 参加者6人 ・6月4日～6日 札幌市立大学看護初期実習1年参加者14人 ・7月4日 北海道医療センター付属札幌看護学校生へ館内案内、概要説明 参加者3人 ・9月24日～26日、10月1日～3日、10月8日～10日 北海道大学医学部保健学科看護学専攻老年看護学実習3年 参加者60人 ・11月8日 韓国巨済市市議会議員による日本の福祉施設の実地調査 参加者5人 ・韓国南部大学看護学科学生へ館内案内、概要説明 参加者5人 ・2月18日 北星学園大学相談援助実習 参加者6人</p> <p>▼地域との連携 ・円山地区の交通安全街頭啓発運動 参加者80人</p> <p>▼一人暮らしの高齢者等の見守り活動の推進 ・センター利用者からの困りごとや様子の変化など必要に応じて包括支援センターへつなげた。</p> <p>▼障がい者関係団体との連携強化 ・障がい当事者の方の講話実施(9月)</p> <p>▼文集等の発行 ・市内10館の老人福祉センター合同による老人福祉センター利用者等の文集「輝き」の発行。</p>	<p>・講座修了生のサークル化や既存サークルの回数の増回などサークル代表者と協力のもと、空室の有効活用を行うことができた。</p> <p>・利用者の多様なニーズに応えられるよう日々のミーティング等で利用者処遇について検討し、サービス提供を実施することができた。</p> <p>・運営にあたっては、引き続き感染症対策を講じ、利用者に安心して利用していただけるよう努めた。</p> <p>・利用者のみならず同居家族への体調確認などきめ細やかなサービス提供</p> <p>・館内のボランティアコーナーへポスター掲示やチラシの配架を行い、利用者への周知に努めた。</p> <p>・専門学校や大学の見学や実習を積極的に受け入れたほか、韓国からの訪問受け入れもを行い、医療・福祉の人材育成の場を提供することができた。</p> <p>・該当啓発や一人暮らし高齢者に関する情報提供など、地域の関係機関と連携を図った。</p> <p>・障がい当事者の方の講話を実施し、理解の促進に努めた。</p> <p>・文集発行により文芸作品を趣味とする高齢者の意欲向上を図る取組ができた。</p>

(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>R5年度実績</th> <th>R6年度計画</th> <th>R6年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>人数(人)</td> <td>23,370</td> <td>30,000</td> <td>23,954</td> </tr> <tr> <td>入浴</td> <td>人数(人)</td> <td>2,724</td> <td>2,400</td> <td>2,579</td> </tr> </tbody> </table>			R5年度実績	R6年度計画	R6年度実績	全体	人数(人)	23,370	30,000	23,954	入浴	人数(人)	2,724	2,400	2,579	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> </table>	A	B	C	D
			R5年度実績	R6年度計画	R6年度実績																	
全体	人数(人)	23,370	30,000	23,954																		
入浴	人数(人)	2,724	2,400	2,579																		
A	B	C	D																			
	<p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>▼社会福祉総合センター1階にセンター便り「あにまーと」の掲示、当日の日程を1階エレベーター横にサイン広告とし、多くの方の目に留まるようにしている。</p> <p>▼中央区民センター、福祉のまち推進センター、中央区社会福祉協議会、まちづくりセンター2か所にセンター便り「あにまーと」を配架し、ホームページへの掲載も行った。</p> <p>▼「広報さっぽろ」に次年度の教養講座募集の案内を掲載した。</p>	<p>・計画人数は未達となったが、複数の講座を定員制から自由参加へ変更したことなどから前年度に比べ、利用者数は微増となった。</p> <p>・総合センター来館者へのPRなど継続的に利用促進の活動を実施することができた。</p>	<p>▼施設全体の利用者数は計画を下回ったものの、高齢者の生活様式はコロナ禍から変化しており、新型コロナウイルスの影響が全くないとは言えないため、やむを得ないものと考えられる。</p> <p>▼施設全体の利用者数は回復傾向で、利用者の増加に努めている。</p>																			
(6)付随業務	▽ 広報業務	<p>▼中央区民センター、福祉のまち推進センター、中央区社会福祉協議会、まちづくりセンター2か所に「センターだより」を配架した。</p> <p>▼ホームページに毎月センター便り「あにまーと」を掲載した。</p> <p>▼館内にボランティア情報コーナーや各種展示会、医療講座などのチラシやポスター掲示を行い、高齢者の生活の活性化に努めた。</p> <p>▼区の連携会議等へ出席し、施設内容の紹介及び介護予防の拠点としてのPRを実施した。</p> <p>▼ウェブアクセシビリティに関する取り組みについて調査し、取組み確認・評価表を公表した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> </table>	A	B	C	D															
	A	B	C	D																		
	<p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>▼前回からの継続指定のため、引継ぎ業務なし</p>	<p>・センターだよりの配架、各種会議等での周知、ホームページへの掲載等で継続的に広報を進めた。</p>	<p>▼仕様書に沿って適切に行われている。</p> <p>▼各種広報活動により、利用の促進に努めている。</p>																			
2 自主事業その他																						
▽ 自主事業	なし		<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> </table>	A	B	C	D															
	A	B	C	D																		
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等	<p>▼委託業務については業務に精通する実績のある市内企業に委託し、物品購入にあたって市内企業を軸として活用した。</p> <p>▼第三者への委託業務としている入浴受付業務については、札幌市シルバー人材センターに依頼して人員を配置した。</p>	<p>・業務委託、物品購入に際しては、市内企業を活用することで地域経済の活性化に寄与することができた。</p> <p>・第三者委託の発注に関し、高齢者就労支援団体に委託することで高齢者の社会参加に協力することができた。</p>	<p>▼仕様書に沿い、市内企業の活用や福祉施策に配慮している。</p>																			
3 利用者の満足度																						
▽ 利用者アンケートの結果	実施方法	<p>・実施期間：令和7年1月20日～2月3日(15日間)</p> <p>・対象者：期間中の当センター利用者</p> <p>・アンケート回収数：381枚(要求水準260枚以上)</p> <p>・デイサービスセンター利用者回収数：56枚</p> <p>・デイサービスセンター家族回収数：26枚</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> </table>	A	B	C	D															
	A	B	C	D																		
	<p>・全般にわたり満足度が要求水準を満たしており、一定の評価は得られているものと考えられる。</p>	<p>▼全ての項目において要求水準を上回る満足度となっており、利用者のニーズに応じた事業が実施できている。</p>																				

<p>結果概要</p>	<p>【老人福祉センター利用者アンケート】 ・施設の総合満足度: 85.11% (要求水準75%以上) ・職員の接遇に関する満足度: 83.99% (要求水準80%以上) ・専門家等相談事業に関する満足度: 82.83% (要求水準80%以上) ・講演・運動等事業に関する満足度: 87.50% (要求水準80%以上) ・教養講座の開講に関する満足度: 93.48% (要求水準80%以上) ・レクリエーション・各種行事の開催等に関する満足度: 96.38% (要求水準80%以上) 【デイサービスセンター利用者アンケート】 ・総合満足度(利用者): 80.36% (要求水準80%以上) ・職員の対応に関する満足度: 82.14% (要求水準80%以上) 【デイサービスセンター家族アンケート】</p>	<p>・いただいたご意見をもとに、サービスの見直しを行うとともに、今後も利用者のニーズに可能な限り応えながらより満足度の高いサービス提供を行ってまいります。</p>	<p>▼特に教養講座やレクリエーションに関する満足度は90%を超える高水準となっており、評価できる内容となっている。 ▼利用者からの要望を踏まえた事業を実施できている。</p>
<p>利用者からの意見・要望とその対応</p>	<p>【要望】 ・運動講座の定員を増やしてほしい → 講座開催の大広間は他センターに比べ狭く、各講師と相談の上できる限りの定員数を設けているためご理解いただきたい。 ・70代からの講座があると嬉しい → 老人福祉センターにおいては市内在住の60歳以上の方が利用できる施設であることから70歳以上限定での講座開設は現在のところ検討していないためご了承いただきたい。 ・講座の種類を増やしてほしい → 令和7年度の定員制講座として運動系「椅子で行う健身操講座」と文化系「筆もじ講座」を新設した。</p>		

4 収支状況

<p>▽ 収支 (千円)</p>					<p>A B C D</p>
<p>項目</p>	<p>R6年度計画</p>	<p>R6年度決算</p>	<p>差(決算-計画)</p>	<p>利用料金収入は大幅に減収となったが、収支のバランスをとるよう努めた。</p>	<p>▼収入は計画より大幅に減額となったが、支出の抑制を行うことで、収支のバランスを図るよう努めている。</p>
<p>収入</p>	<p>77,501</p>	<p>71,255</p>	<p>▲ 6,246</p>		<p>▼引き続き、支出の抑制に努めるとともに、利用者数の回復や利用者満足度向上に関する取り組みを積極的に行い、収支のバランスを図るよう努めていただきたい。</p>
<p>指定管理業務収入</p>	<p>77,501</p>	<p>71,255</p>	<p>▲ 6,246</p>		
<p>指定管理費</p>	<p>37,052</p>	<p>38,540</p>	<p>1,488</p>		
<p>利用料金</p>	<p>39,531</p>	<p>30,740</p>	<p>▲ 8,791</p>		
<p>その他</p>	<p>918</p>	<p>1,975</p>	<p>1,057</p>		
<p>自主事業収入</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>0</p>		
<p>支出</p>	<p>75,901</p>	<p>70,555</p>	<p>▲ 5,346</p>		
<p>指定管理業務支出</p>	<p>75,901</p>	<p>70,555</p>	<p>▲ 5,346</p>		
<p>自主事業支出</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>0</p>		
<p>収入-支出</p>	<p>1,600</p>	<p>700</p>	<p>▲ 900</p>		
<p>利益還元</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>0</p>		
<p>法人税等</p>	<p>1,600</p>	<p>700</p>	<p>▲ 900</p>		
<p>純利益</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>0</p>		
<p>▽ 説明</p>					
<p>・指定管理費収入は、「賃金スライド制度」と「光熱費高騰」に伴う協定を改定したため、計画より1,488千円の増となった。 ・利用料金収入は、通所介護事業利用者の入院・入所・逝去などの「利用廃止」が多く、計画より6,449千円の減となった。 ・指定管理業務支出は、職員の配置転換や物品購入の節制、水道光熱費の削減などにより、計画より5,346千円の減となった。 ・自主事業収入は、昨年同様に実習生の受入を継続しており、研修受入費が計画を上回った。</p>					

<確認項目> ※評価項目ではありません。

<p>▽ 安定経営能力の維持 ▼財務状況について、収入は指定管理費、通所介護事業の介護保険収入等があるが、これまで同様に支出の抑制を図りながら、収支のバランスを図るよう努めている。</p>	<p>適 不適</p>
---	-------------

<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <p>▼個人情報の保護については、当法人の「個人情報保護方針」及び「個人情報の保護に関する規程」に基づき適正に対応している。</p> <p>▼情報公開については、当法人の「情報公開規程」に基づき透明性の確保に努めている。なお、当該年度も前年度に引き続き、請求は0件であった。</p> <p>▼暴力団の排除については、札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、施設を暴力団の活動に使用させないことや、協定に関する契約については暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないように努めている。なお、暴力団関係と思われる相手方の利用や契約の実績はなかった。</p>	適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
<p>・事業の遂行にあたっては高齢者が多く利用する施設であることから基本的な感染対策は行っているものの、利用者にとって窮屈感なく利用できる施設づくりを心がけた。</p> <p>・講座や講話等に関して施設の広さから参加人数には限界があるが、講師の協力を得て少しでも多くの方に参加いただけるよう取り組んでいるが、利用者のメイン層が70代後半から80代となっており、若年層の利用が少なく利用人数のアップにはなかなか繋がらない部分があった。</p> <p>・備品等のリサイクルや節電に努めながら施設運営を行うことができた。</p>	<p>・高齢者の健康増進や趣味活動の場として利便性や快適性を考慮した施設運営を引き続き目指していく。</p> <p>・若年層の利用アップを目指し、従来の講座や講話内容以外のテーマを取り入れ企画・立案に努めていく。</p> <p>・短期講座や単発講座をコンスタントに取り入れ、少しでも多くの方にセンターを利用していただけるよう取り組んでいく。</p> <p>・定期的なホームページの更新や総合センター掲示板の活用などで引き続きセンターの周知を行っていく。</p>
【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>▼基本的な感染症対策は継続しながら、利用者が窮屈に感じない施設運営に努めている。</p> <p>▼若年層が利用するにあたり利便性や快適性を考慮した事業展開を行い、施設全体でさらなる利用者数の増加を目指していただきたい。</p> <p>▼備品等のリサイクルや節電に努めており、評価できる。</p>	